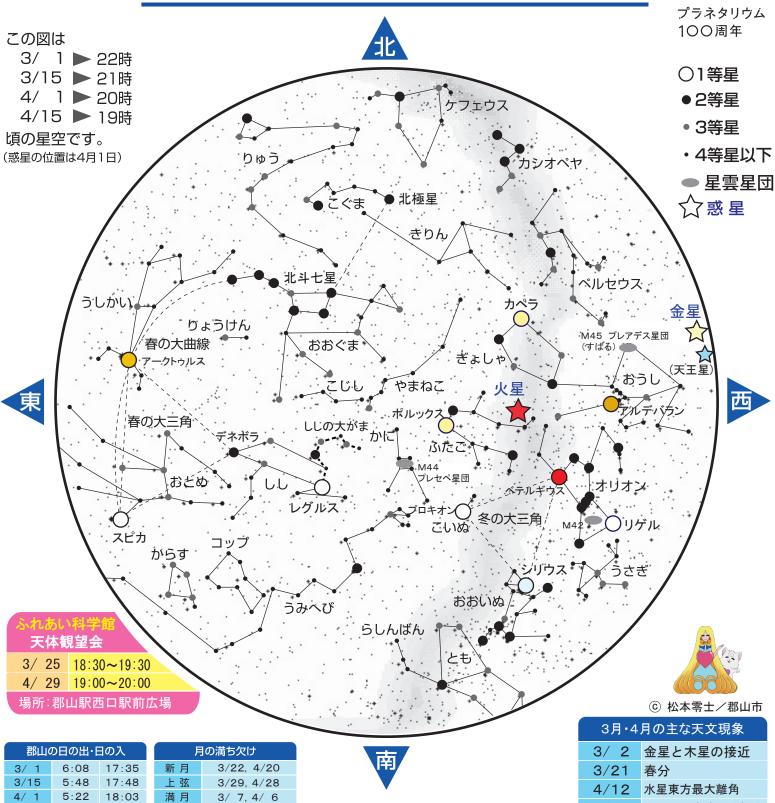
2023年

## 3月▶4月の星空





3月に入ると、これまで日の入り後の西の低空に見えていた「宵の明星」の金星が徐々に高度を上げ、空で目立つようになってきます。そこから少し上に目を向けると木星の姿も見えています。金星は約-4等、木星は約-2等と日の入り後のまだ明るい空でも見つけられる明るさです。さらに3月2日には金星と木星が空で大きく接近します。これら2つの明るい惑星が仲良く並ぶ姿は空の中で目を引くでしょう。

※上弦、下弦は半月です。

素敵な惑星の姿とともに夕方の空を楽しみつつ、宵空にも目を向けてみてください。冬の星座から春の星座へと季節の星座が移り変わり始めており、やわらかな春の訪れとともに東の空から春の星たちが昇ってきています。北極星を探す目印として知られる北斗七星は、おおぐま座の胴体からしっぽにかけての星の並びです。そのしっぽから、うし

かい座の「アークトゥルス」、おとめ座「スピカ」を結ぶことで「春の大曲線」を描くことができます。アークトゥルスとスピカは「春の夫婦星」と呼ばれ、夜空で並ぶ姿は仲の良い夫婦のようです。今年はこの夫婦星に加え、冒頭でご紹介した2つの惑星も並びます。それぞれの並ぶ距離は違いますが、星たちの仲の良さを感じる素敵な空となりそうです。

3/15, 4/13



4月こと座流星群極大

4/23